

第6回 MBSD勉強会 セットアップ資料

三井物産セキュアディレクション株式会社

2016年 8月

当資料では、以下の3ステップで勉強会で利用する環境のセットアップ手順を解説いたします。

Step1

Virtual Box インストール編

Step2

Kali Linux セットアップ編

Step3

Metasploitable2 セットアップ編

※当資料ではWindows7（64bit版）PCにおけるインストール方法を解説しています。他のOSをご利用の方は適宜読み替えてセットアップにお役立てください。

※当資料により、ご使用のPCに不具合が生じることは基本的にはございませんが、インストールの実行に関しましては、皆様の自己責任となります。

予めご了承ください。勉強会受講以外の目的で当資料をご活用される場合も同様です。

Step1

Virtual Box インストール編

Step2

Kali Linux セットアップ編

Step3

Metasploitable2 セットアップ編

Virtual Box インストール編 ～Windows7（64bit）環境用～

M | B | S | D[®]

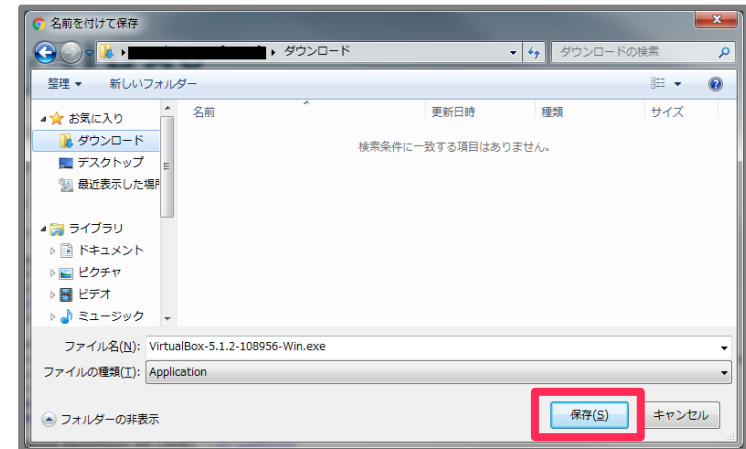
1. <https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads>

からご利用の環境にあったパッケージをダウンロードします。

※WindowsのPCをご利用の方は、
Windows hosts x86/am64 になります。



2. 取得したパッケージを 任意のフォルダに保存します。



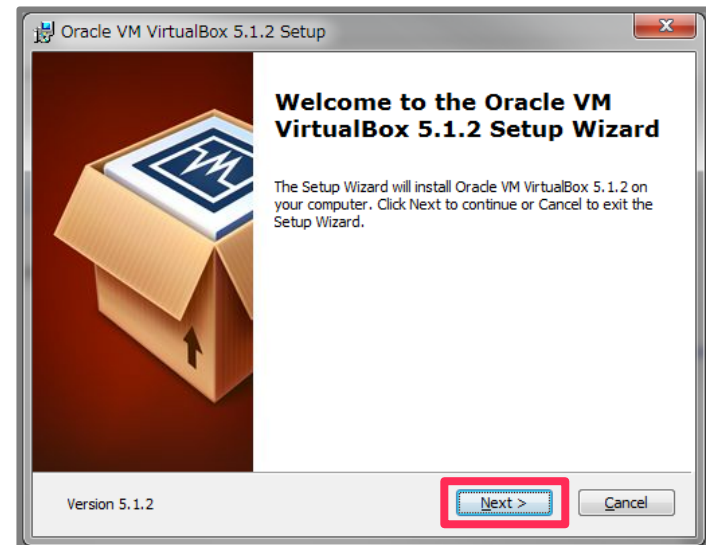
3. ダウンロードしたファイルを実行します。



4. 「VirtualBox Setup Wizard」

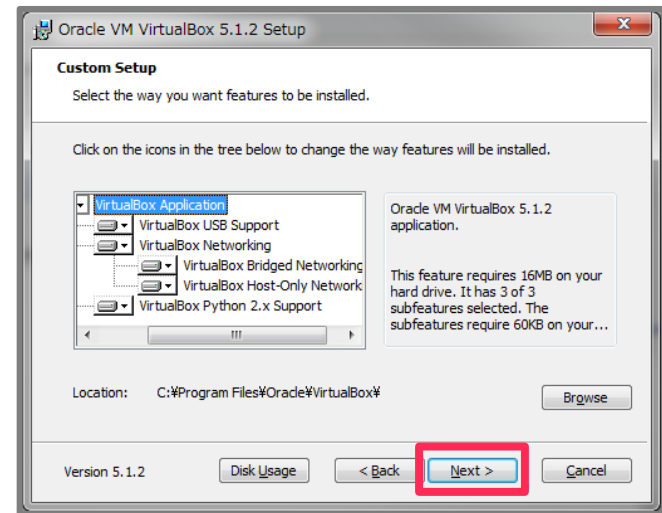
が開始されます。

「Next」をクリックして次に進みます。



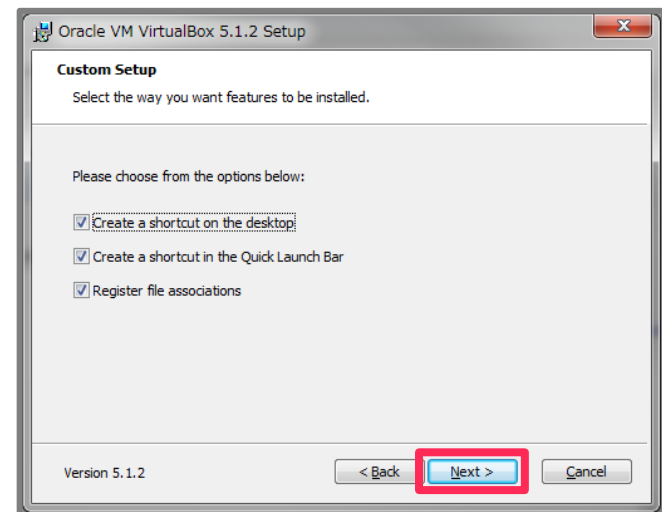
5. 「**Custom Setup**」では
インストール不要な機能を
セットアップ対象から除外してください。
(初期値のままでも構いません)

選択が完了したら、「**Next**」をクリックして
次へ進みます。



6. デスクトップへのショートカット作成などを
必要に応じて選択してください。

選択が完了したら、「**Next**」をクリックして
次へ進みます。

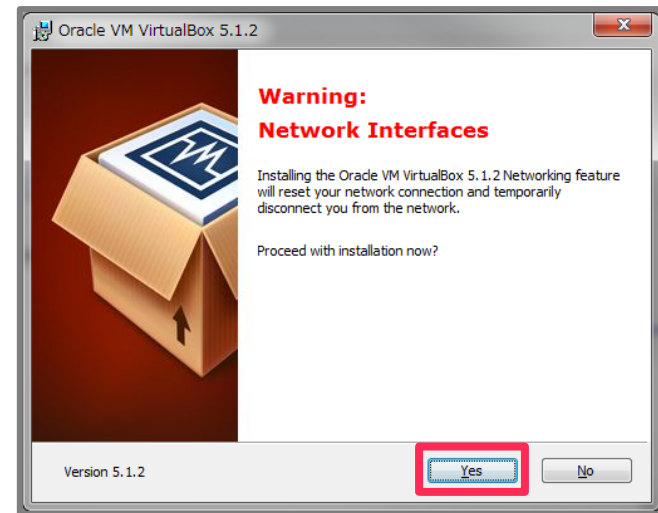


7. ネットワークのリセットを通知する警告が表示されます。

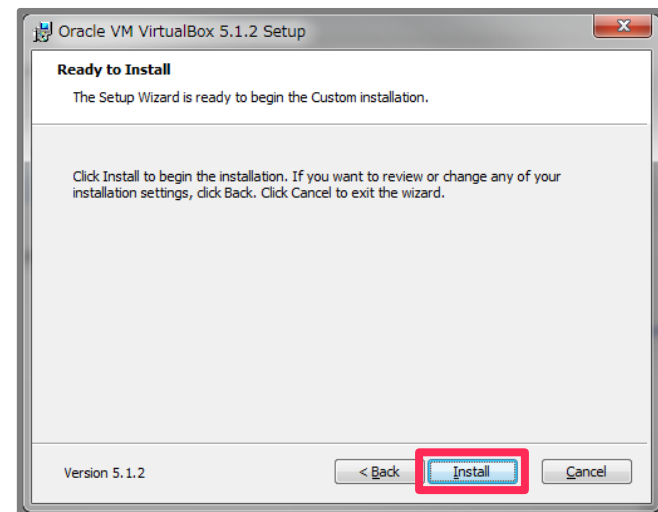
「Yes」をクリックして次に進みます。

※「Yes」をクリックするとセットアップが開始されますが、その際に**一瞬だけネットワークが不通になります。**

他のプロセスでファイルダウンロードなどを行っている場合、切断されてしまう可能性があるため、その場合はダウンロードが完了してから「Yes」をクリックしてください。

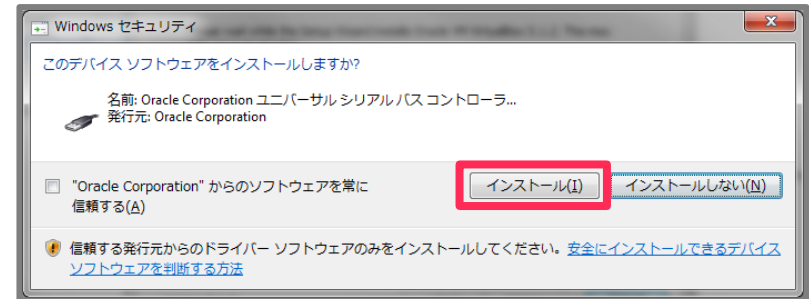


8. 「Install」をクリックします。



9. 「Windows セキュリティ」確認画面が表示されます。

内容を確認し、
「インストール」をクリックします。
(複数回表示される場合があります。)



8. セットアップ完了が表示されたら「Finish」をクリックして終了です。



Step1

Virtual Box インストール編

Step2

Kali Linux セットアップ編

Step3

Metasploitable2 セットアップ編

1. <https://www.kali.org/downloads/>
からご利用の環境にあったファイルを
ダウンロードし、任意のフォルダに保存します。

※本資料では「**Kali Linux 64 bit Light**」
「**ISO**」をクリックしてダウンロードします。

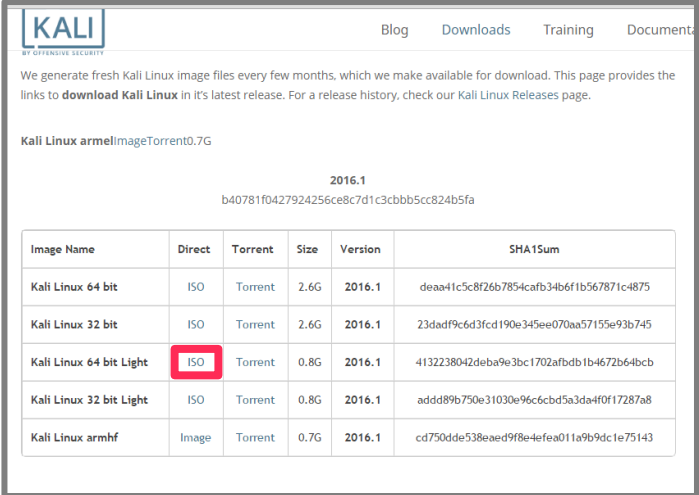
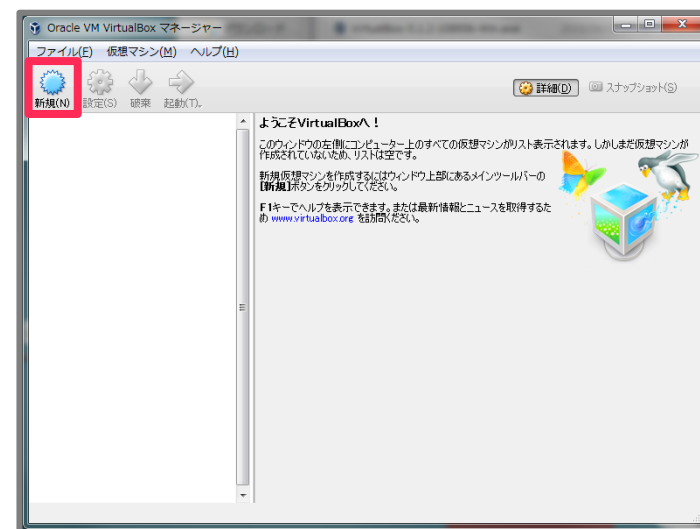


Image Name	Direct	Torrent	Size	Version	SHA1Sum
Kali Linux 64 bit	ISO	Torrent	2.6G	2016.1	deaa41c5c8f26b7854caf34b6f1b567871c4875
Kali Linux 32 bit	ISO	Torrent	2.6G	2016.1	23dadf9c6d3fcd190e345ee070aa57155e93b745
Kali Linux 64 bit Light	ISO	Torrent	0.8G	2016.1	4132238042deba9e3bc1702afbdb1b4672b64bcb
Kali Linux 32 bit Light	ISO	Torrent	0.8G	2016.1	add89b750e31030e96c6cbd5a3da4f0f17287a8
Kali Linux armhf	Image	Torrent	0.7G	2016.1	cd750dde538eae9f8e4e4ea011a9b9dc1e75143

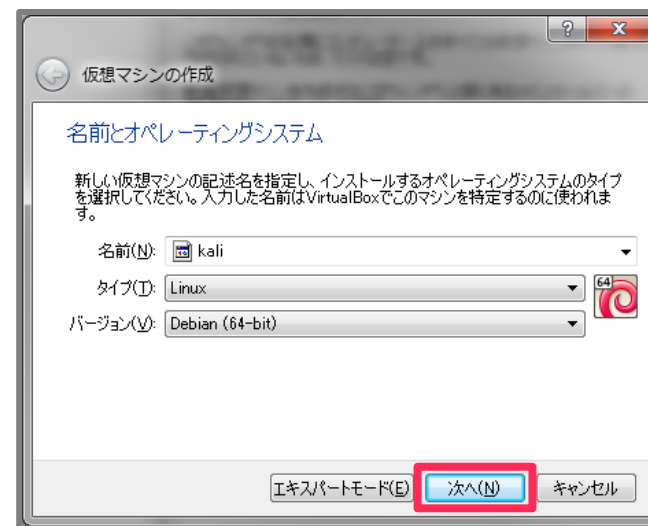
2. VirtualBoxを起動し、
「**Oracle VM VirtualBox マネージャー**」
のメニュー画面で「**新規**」をクリックします。



3. 「仮想マシンの作成」では、
下記の通り設定し「次へ」をクリックします。

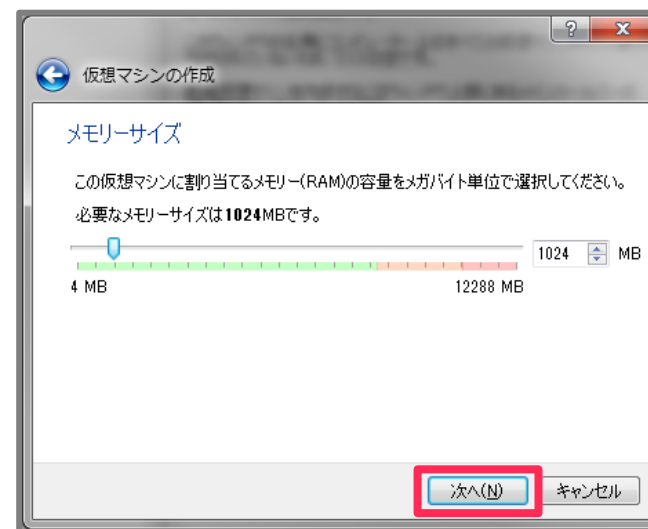
- ・ 名前 : **kali**
- ・ タイプ : **Linux**
- ・ バージョン : **Debian(64-bit)**

※手順1でダウンロードしたファイルに従って、
選択するバージョンは読み替えてください。

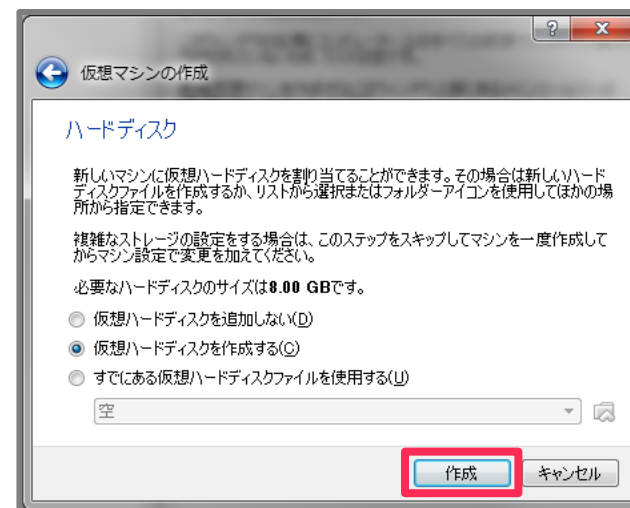


4. 仮想マシンに割り当てるメモリサイズ
を指定します。

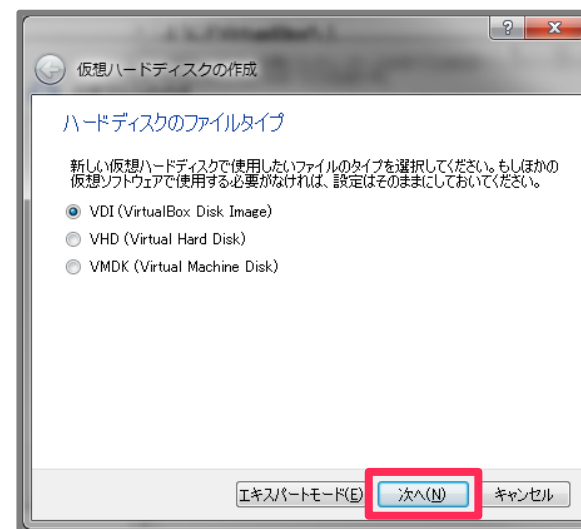
ご利用の環境に適した値を指定し、
「次へ」をクリックします。
(初期値のままでも構いません)



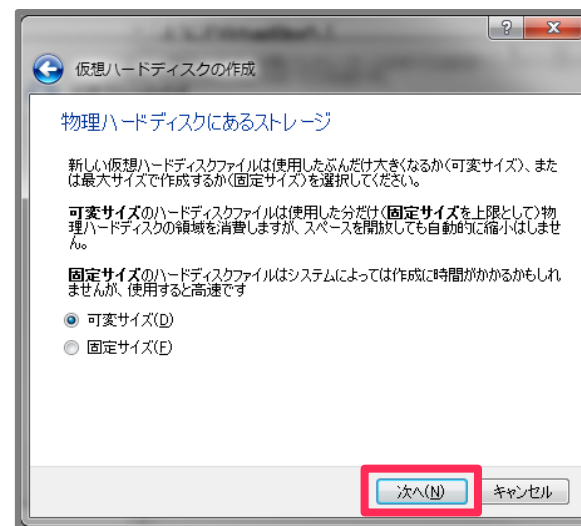
5. 「**仮想マシンの作成**」では
初期設定のまま「**作成**」をクリックします。



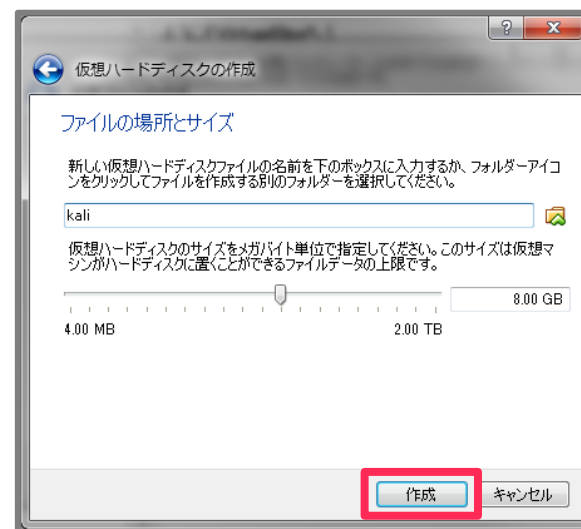
6. 初期設定のまま「**次へ**」をクリックします。



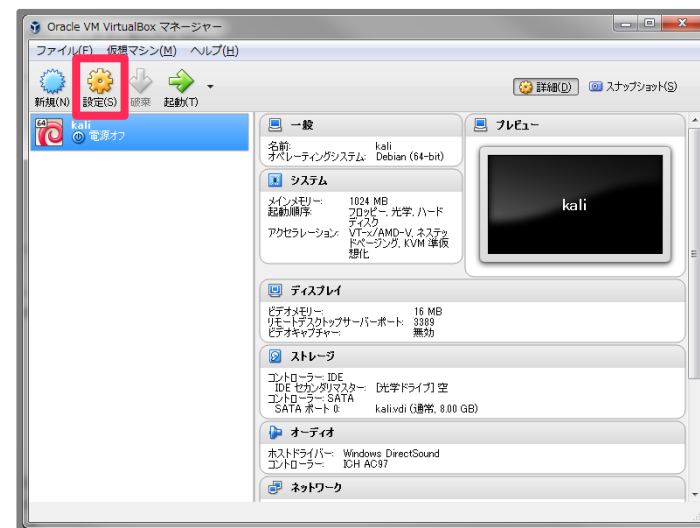
7. 初期設定のまま「次へ」をクリックします。



8. 初期設定のまま「作成」をクリックします。

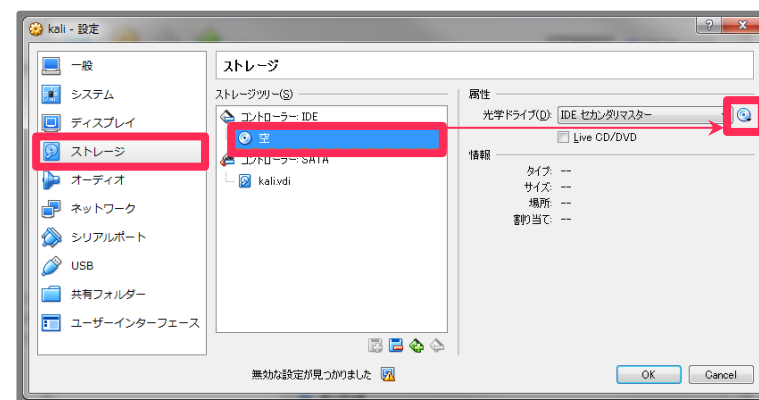


9. 「Oracle VM VirtualBox マネージャー」 のメニュー画面で「設定」をクリックします。



10. 「kali-設定」の画面左側のリストで 「ストレージ」を選択します。

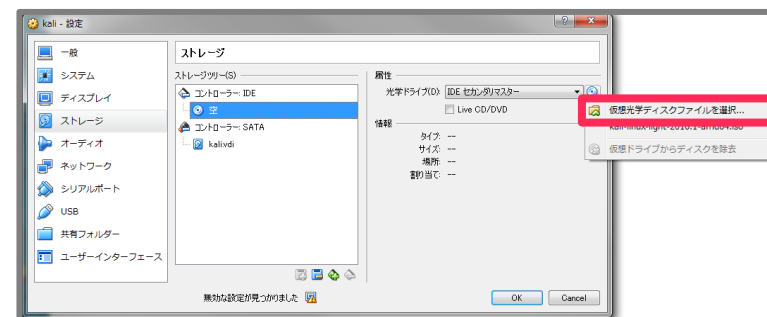
つづいて「コントローラーIDE」の
「空」を選択した状態で、
画面右側の「ディスクアイコン」
をクリックします。



11. 「仮想光学ディスクファイルを選択」

をクリックします。

ファイル選択ダイアログが表示されるので、手順1でダウンロードしたファイルを選択してください。



※本資料では

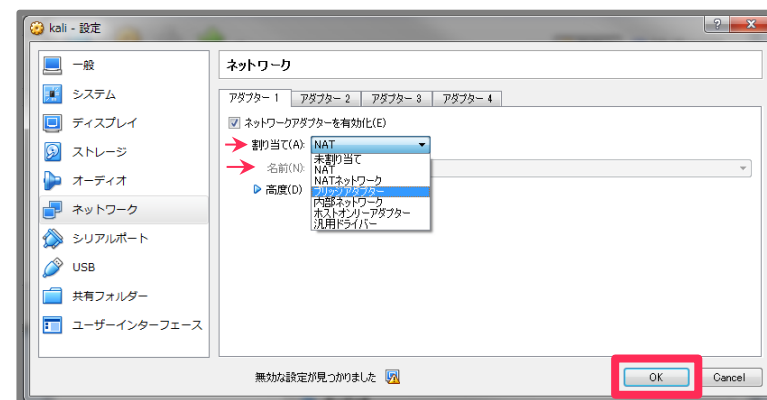
「Kali Linux 64 bit Light」版の「ISO」ファイルになります。

12. 続いて、画面左のリストで「ネットワーク」

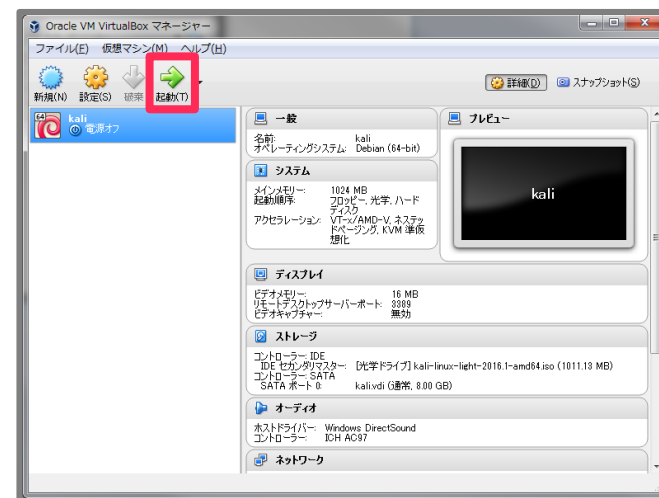
を選択し、下記の通り設定します。

- ・ 割り当て：ブリッジアダプター
- ・ 名前：ご利用されているPCで使用しているネットワークアダプタ名を選択してください。

設定が完了したら、「OK」をクリックします。

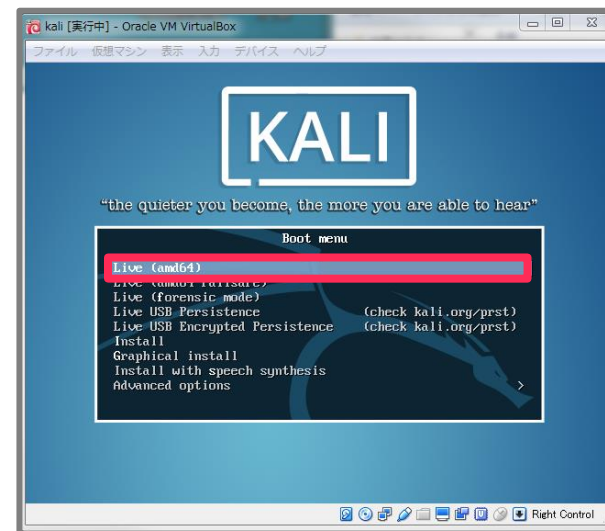


13. 「Oracle VM VirtualBox マネージャー」
のメニュー画面で「**起動**」をクリックします。

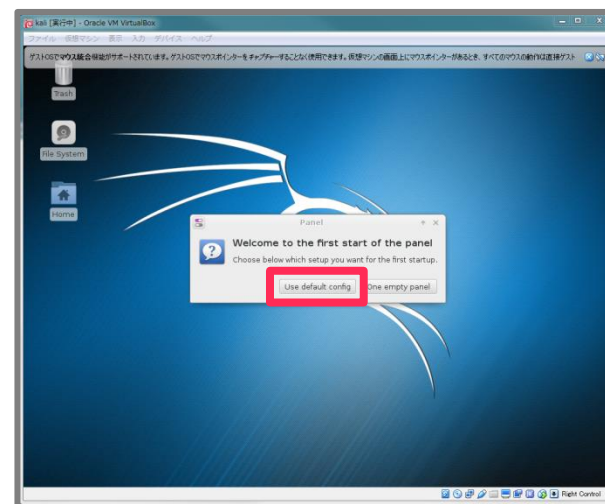


14. 仮想マシンが起動します。

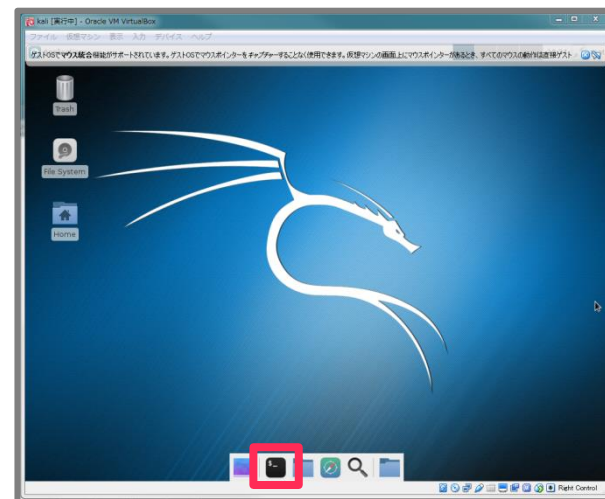
右画像の画面が表示されたら
「**Live(amd64)**」を選択し、
「Enter」キーを押す。



15. 初回ログイン時のメッセージでは
「Use default config」をクリックする。

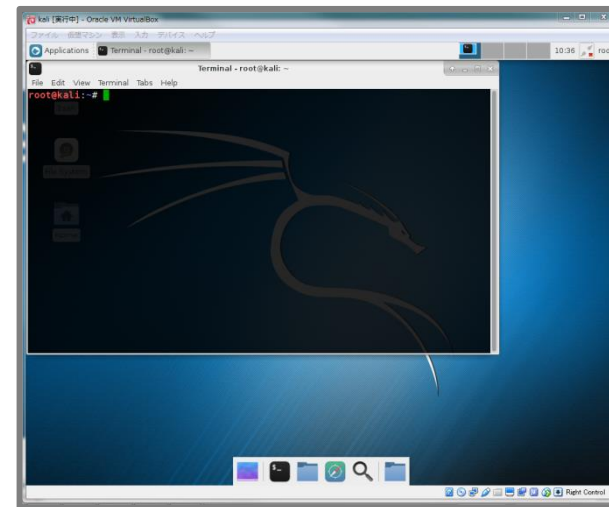


- 16.最後に画面下部の「コンソールアイコン」
をクリックします。



17. 右画像のように
コンソールが起動することを確認してください。

起動すればセットアップは完了です。



Step1

Virtual Box インストール編

Step2

Kali Linux セットアップ編

Step3

Metasploitable2 セットアップ編

はじめに . . .

このパートは、VirtualBox上でMetasploitable2を動作させるためのセットアップ手順を記載しています（VirtualBoxのセットアップは「VirtualBox セットアップ編」P.3～8 をご参照ください）。

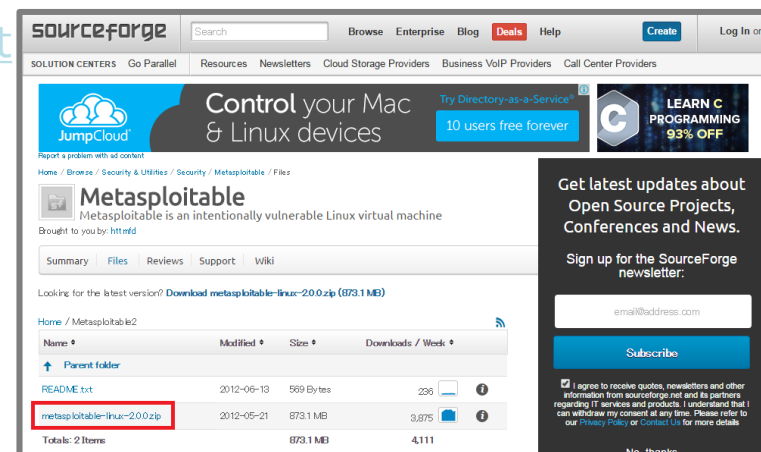
セットアップ手順は異なりますが、VMWareでも同様にMetasploitable2を動作させることは可能です。VMWare上で動作させたいという場合は、他サイトの情報を参考にセットアップを行ってください。

Metasploitable2 セットアップ編 ～Windows7 (64bit) 環境用～

M | B | S | D

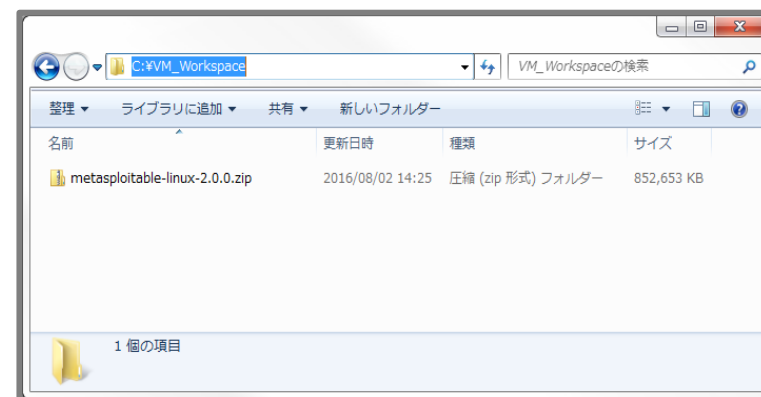
1. <https://sourceforge.net/projects/metasploitable/files/Metasploitable2/>

から「Metasploitable2」の仮想マシンデータ (zip形式) をダウンロードします。

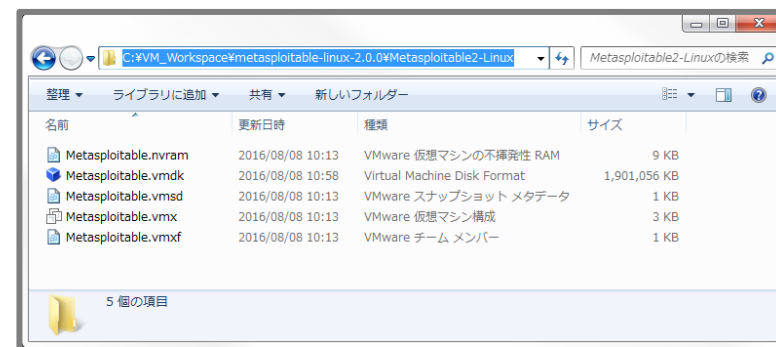


2. ダウンロードしたzipファイルを
任意のフォルダに保存します。

例ではCドライブ直下に
「VM Workspace」フォルダを作成し、そこに保存しています。

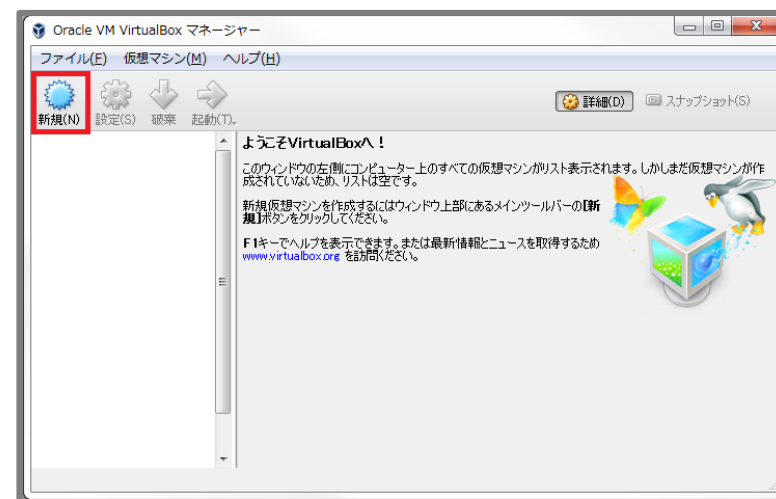


- 3.ダウンロードしたzipファイルを解凍します。
解凍後は仮想マシンファイルが展開されます。



- 4.手順3で展開したファイルの中にある
「**Metasploitable.vmdk**」ファイルを
新規仮想マシンとしてVirtualBoxから
利用できるようにします。

VirtualBoxを起動し、
「**Oracle VM VirtualBox マネージャー**」
のメニュー画面で「**新規**」をクリックします。



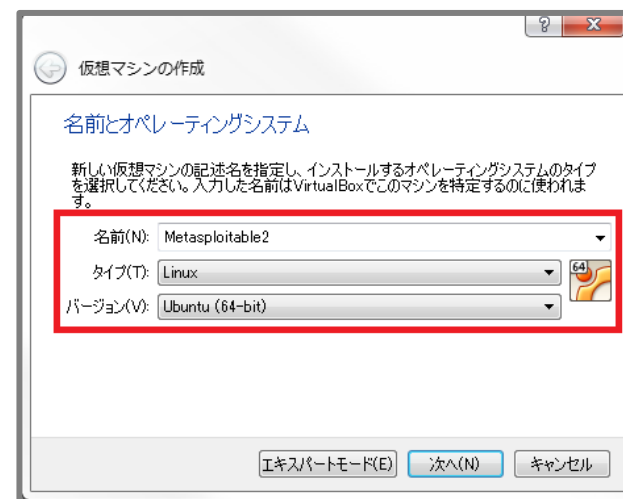
5. 「仮想マシンの作成」では、
下記の通り設定し「次へ」をクリックします。

名前 : **Metasploitable2**

タイプ : **Linux**

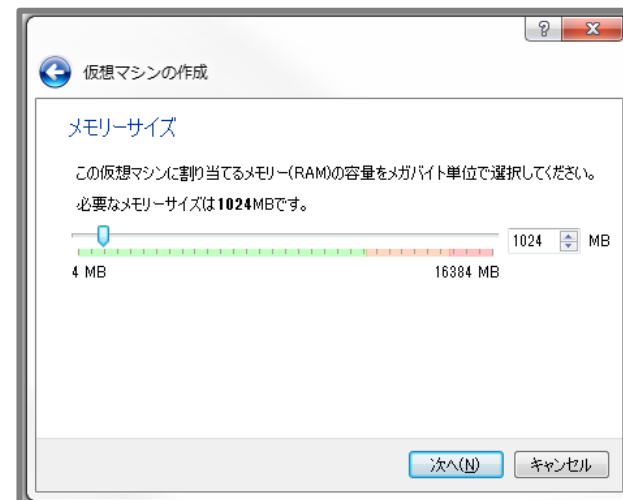
バージョン : **Ubuntu(64-bit)**

※ご利用されるPCのCPUに従って、
選択するバージョンは読み替えてください。



6. 仮想マシンに割り当てるメモリサイズ
を指定します。

ご利用の環境に適した値を指定し、
「次へ」をクリックします。
(初期値のままでも構いません)



7. 「仮想マシンの作成」で

仮想マシンの割り当て方法を設定します。

「**すでにある仮想ハードディスクを使用する**」を選択します。

つづいて、

選択肢に「**Metasploitable.vmdk**」

ファイルが含まれている場合は
それを選択してください。

※選択肢に「**Metasploitable.vmdk**」が含まれていない場合

選択肢右側のフォルダアイコンをクリックし、

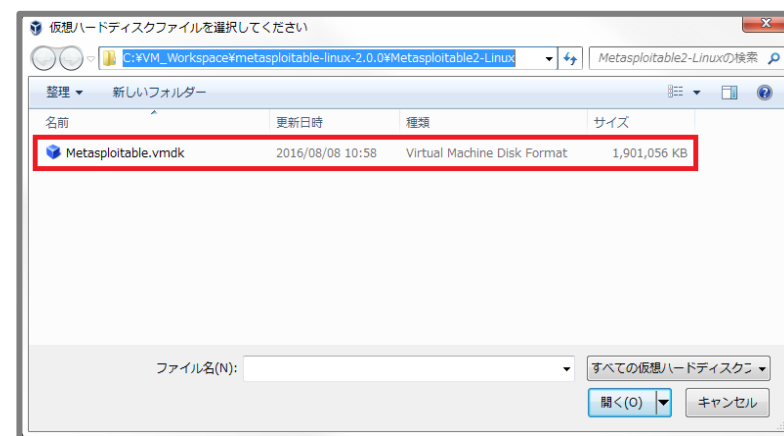
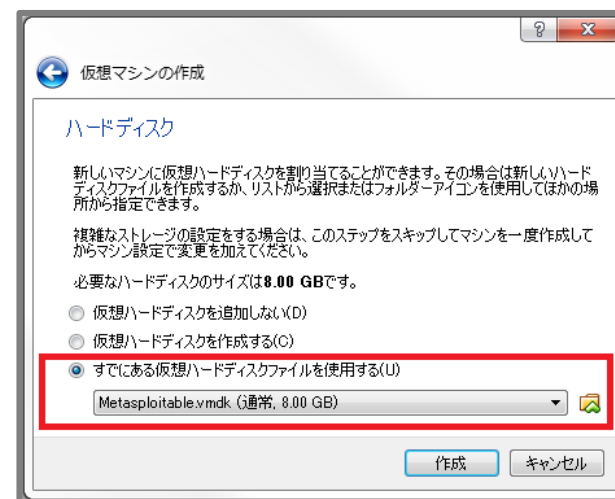
ファイル選択ダイアログで

手順3で展開したファイルに中にある

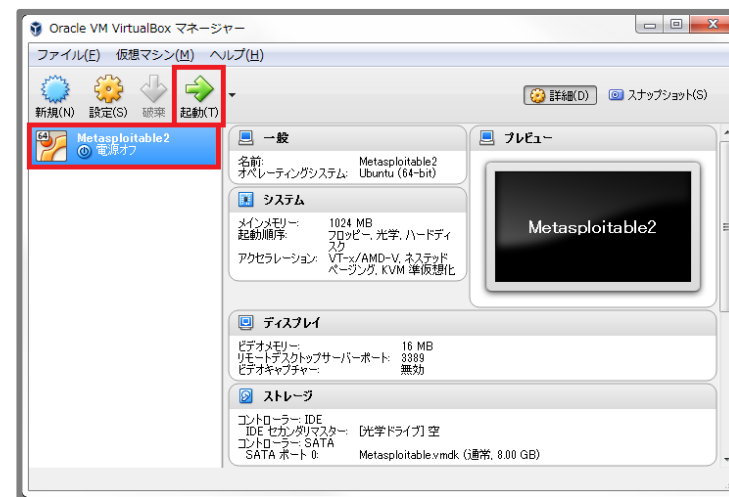
「**Metasploitable.vmdk**」ファイルを選択します。

ファイルの選択が完了したら、

「**作成**」をクリックします。



8. 「Oracle VM VirtualBox マネージャー」 のメニュー画面で「起動」をクリックします。



9. 右画像のように「Metasploitable2」の ログインコンソールが表示されたら、 セットアップは完了です。

※初期ログインIDとパスワードは
msfadmin/msfadmin
が設定されています。

